

# 12 詩2 詩を味わう

組	
番号	
氏名	

1 次の詩を読んで問いに答えなさい。

## 新緑の頃ころ

高村光太郎

青葉若葉に野山のかげろう時、  
ああ植物は清いと思う。

ア植物はもう一度少年となり少女となり

五月六月の日本列島は隅から隅まで  
濡れて出たような緑のお祭。

たとえばかえで楓のこずえ梢をみても

うぶな、こまやかな仕掛に満ちる。

小さな葉っぱは世にも丁寧ていねいに畳まれて  
もっと小さな芽からぱらりと出る。

イそれがほどけて手をひらく。

晴ればかがやき、降ればにじみ、  
人なつこく風にそよいで、

ああ植物は清いと思う。

そういうところへ昔ながらの燕つばめが飛び

夜は地虫のやさえひびく。

天然は実にふるい行状で

こうもあざやかな意匠いせうをウつくる。

※かげろう：透き通った炎のよ

うに地面からゆら

ゆら立ち上る

うぶな：純真な。

意匠：デザイン。

① この詩の種類を答えなさい。

口語自由詩

② ア植物はもう一度少年となり少女となりとありますが、これはどのような状態を表していますか。簡潔に説明しなさい。

(例) 春になって再び青葉若葉が生い茂ってきた状態。

**注** 「どのような状態か」という問いには、「く状態」となるように答えよう。

③ イそれがほどこけて手をひらく。とありますが、ここに用いられている表現の技法を答えなさい。

擬人法

④ ウつくるとありますが、この主語は何ですか。詩の中の言葉(一文節)で抜き出さない。

天然は